

## 令和4年度 第2回千歳市廃棄物減量等推進審議会 結果概要

日時	令和4年10月27日（木）	開始	13:30	終了	16:00
場所	千歳市総合福祉センター 4階 402号室				
出席者数	委員16名中14名出席	会議の成立	成立		
途中出席者	1名				
途中退席者	なし				
事務局出席者	<p>浅井市民環境部長、田中環境センター長</p> <p><b>【廃棄物管理課】</b> 太田廃棄物管理課長、今村総務係長、本田総務係主任、沼達総務係主任 前本建設計画係長、富田施設係長</p> <p><b>【廃棄物対策課】</b> 橋本廃棄物対策課長、廣田廃棄物対策係長、濱元資源循環推進係長</p>				
傍聴者	なし				
報道関係者	なし				

会議録（発言要旨） 別添のとおり

## 令和4年度 第2回千歳市廃棄物減量等推進審議会 会議録（発言要旨）

### 1 開 会

会長及び副会長の選出までは、事務局にて本審議会を進行した。

### 2 議 事

#### (1) 審議事項

##### ① 会長及び副会長の選出について

会長には、「学識経験を有する者」として、公立千歳科学技術大学から推薦された吉田 淳一委員を、副会長には、「廃棄物収集運搬業の知識経験を有する者」として一般廃棄物収集運搬業許可業者から推薦された曙 宏樹委員を選出した。

会長選出後、会長から自己紹介を含む挨拶があり、以降は会長を議長として本審議会を進行した。

##### <会長挨拶の要旨>

2050年までの千歳市ゼロカーボンシティに向けて各方面が努力をせねばならない中、廃棄物減量は重要な取り組みの一つである。廃棄物減量＝ゴミ排出量減であり、それにはリサイクル・リユース可能な材料や製品への転換が最も重要である。そのための技術開発を推進することは自明の理であるが、個人の日常生活や企業の社会活動において、「ゴミになりそうなものを使わない」・「ゴミとして廃棄するのではなく資源として再生する」にはどうすればいいかということ、ハード・ソフトの両面から考えて社会全体で取り組みを進める必要がある。本審議会には、様々な経験や専門の方が集まっているので、それぞれの立場から意見を出し合い、有益な審議会としていきたい。

#### (2) 報告事項

##### ① 破碎処理場の火災に関する報告

事務局より資料1に基づき説明。報告済みとなった。

##### 《質疑等》

##### (委 員)

千歳市では、スプレー缶をどのように回収しているのか。また、回収後はどのように取り扱っているのか。

##### (事務局)

スプレー缶は、穴をあけずに「有害ごみ」の区分で出していただくよう市民の皆様をお願いしている。

収集後のスプレー缶は、環境センターでは処分できないことから、市内業者に処分

を依頼している。

(委 員)

使用済み乾電池や蛍光管は、どのように取り扱っているのか。

(事務局)

使用済み乾電池及び蛍光管についても、「有害ごみ」の区分で出していただくよう市民の皆様をお願いしている。

これらも環境センターでは処分できないことから、北見市にある処理業者へ処分を依頼している。

(委 員)

10月15日に開催された「ちとせ消費者まつり」で話題になったのだが、「玩具に内蔵されている電池」等、取り外しができない電池も、「有害ごみ」として出すのが正しいのか。

(事務局)

玩具に内蔵されている電池等、取り除けない電池については、「有害ごみ」ではなく、排出者の責任で、販売店や量販店等の有償で処理を行う店舗を紹介している。

(会 長)

それらの店舗で電池を取り除いてもらうのか。

(事務局)

電池を取り除いてもらうのではなく、電池が取れない製品の処分自体を各店舗に依頼する形である。

(会 長)

「有害ごみ」として出せる電池は、乾電池等電池部分のみ、ということよろしいか。

(事務局)

お見込みのとおり。

(会 長)

「有害ごみ」の処分方法については、今回の電池の分別の徹底だけでなく、「スプレー缶に穴をあけないこと」等をの周知を改めてお願いしたい。

(委 員)

最近知ったのだが、市の家庭廃棄物の収集、町内会等の集団資源回収物の収集の他に、スーパー等の量販店で、電池やライターを回収する箱が設置されている。これらについても市から周知してはいかがか。

また、回収ボックスでも火災が起きていると聞かすが、千歳市ではどうなっているのか。

(事務局)

量販店での電池等の回収は、「一般社団法人JBRC」という小型充電式電池のリ

サイクル活動を推進する法人が各店舗と連携していることは認識している。今後、それらの啓発についても検討する必要があると考える。

また、回収ボックスでの火災については、当市では把握していない。

② 令和4年度廃棄物処理事業概要について

事務局より資料2に基づき説明。報告済みとなった。

《質疑等》

(会 長)

「千歳市一般廃棄物処理実施計画」の施策については、毎年本審議会に進捗状況を報告していただいている。

本資料内容も多いので、持ち帰って一読していただき、質問があれば事務局へご連絡いただきたい。

③ 道央廃棄物処理組合焼却施設建設における事業進捗報告

事務局より資料3に基づき説明。報告済みとなった。

《質疑等》

(会 長)

この後、当焼却施設建設現場の見学を予定している。現地を視察した上で質問がある場合、そちらで伺っていただきたい。

3 閉 会

(会 長)

事務局から何か連絡はあるか。

(事務局)

次回の審議会では、「事業系一般廃棄物処理手数料等の改定」についてご検討いただく予定である。

開催時期として、令和5年2月又は3月頃を予定している。決まり次第、改めてご案内する。

(会 長)

以上をもって、第2回千歳市廃棄物減量等推進審議会を閉会する。

以上